

竜の割石コース

坂田山共生の森

自然と歴史が調和する里山を歩こう



距離 約4,000m

時速4 kmで約60分

須坂市産業振興部農林課
TEL 026-248-9004(課専用)

須坂市健康福祉部健康づくり課
TEL 026-248-9018(課専用)
TEL 026-248-9023 (保健センター)

■ はじめに

健康のために無理のない程度に運動をしましょう。
運動と言っても、最初は肩肘張らず、歩くことから始めてみませんか。楽しみながら自分のペースで継続できることがウォーキングの魅力です。
参考コースをお示ししましたが、皆さんはそれぞれの家発着で自分のコースを工夫・開拓してください。

■ 「歩くこと」(ウォーキング)の効用

- ・生活習慣病の予防や改善
- ・筋力(足腰)の衰えの予防
- ・心肺機能の向上
- ・骨粗しょう症の予防
- ・精神的リフレッシュ
- ・文化や自然と接する機会
- ・認知症の予防(脳の活性化)

■ 水分の補給を十分行いましょう

ウォーキングを行うときに忘れてはいけないのが「水分補給」です。脱水症状などの予防として、体内の水分量を保つために重要です。汗をかく、かかないにかかわらずこまめに水分を補給するようにしましょう。

■ 服装等について

気候に合った動きやすいものが良いです。
くつは、専用のもののほうが身体への負担は少ないです。

■ 交通安全等について

歩くときには、交通の決まりごとを守り、事故に合わないよう(事故を起こさないよう)に注意してください。
自動車はもちろん自転車との事故も最近が多いようです。また、動植物(熊・へび・蜂・とげ・かぶれる葉等々)に対しても十分注意してください。

夜間の歩行時は、反射材付きタスキやライトを使用しましょう。
示したコースは安全を保障するものではありません。

■ 体調管理について

医師等から指導・指示を受けている場合は必ずそれに従い、持病がある人や何らかの症状がある人等は医師に相談してから始めましょう。

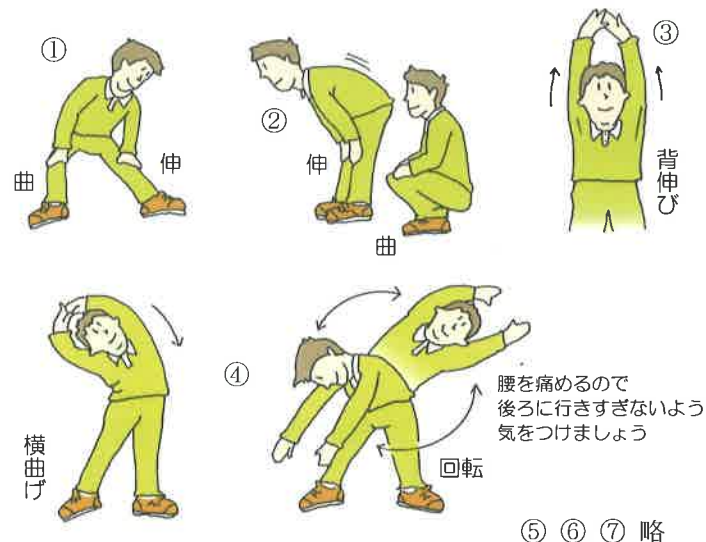
■ 準備運動・整理運動をしましょう。

歩く前後で準備運動、整理運動をしてケガを予防しましょう。準備運動をすることで、体をあたためて関節を動かしたり、疲れを残さないようにして、効果が上がる歩き方をしましょう。

【準備運動や整理運動の例】

体操

- ① 浅い伸脚 ② 膝の屈伸 ③ 背伸び
- ④ 上体の前後屈/横曲げ/回旋 ⑤ 軽い跳躍
- ⑥ 首 手首 足首の回旋 ⑦ 深呼吸

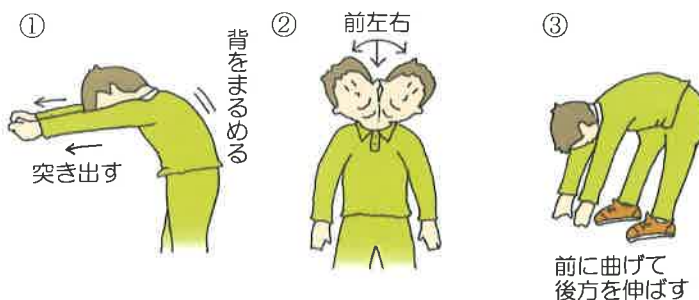


ストレッチ

呼吸をしたまま、反動をつけずゆっくり動いて筋肉を伸ばします

・体幹

- ① 背 背中を丸め、両手を組んで前に突き出す。
- ② 首 前後左右に倒す。(手で力を加えてもよい。)
- ③ 腰・臀 上体を前に倒し、身体の後方を伸ばす。



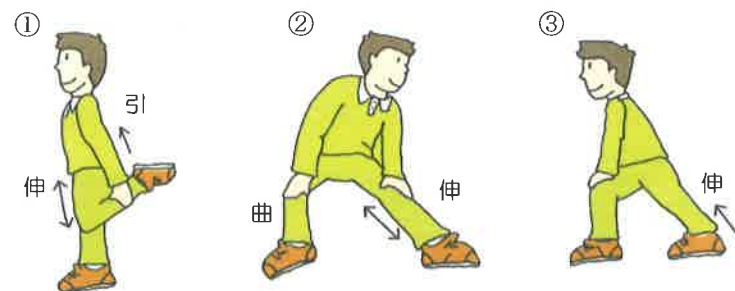
・上肢

- ① 手首 手のひらを起こしながら肘を伸ばす。
- ② 肩 腕を他方の腕で抱えるように引く。
- ③ 肩・上腕・脇 片腕を真上に上げ肘を頭の後方で他方の手で持ち、引く。



・下肢

- ① 大腿(前側) 膝を曲げ、つま先を手で持ち、尻に近づける。
- ② 大腿(内側) 脚を横に開き、片膝を曲げ、他方の内側を伸ばす。
- ③ ふくらはぎ 脚を前後に開き、後ろ足の踵を床につけたまま、重心を前足に移していく。



■健康ミニ情報

30分間の歩行で消費できるカロリー
(体重50kgの方の場合)

歩行速度	消費カロリー	おにぎりだと...
ゆっくり歩き	45kcal	1/4個
ふつう歩き	60kcal	1/3個
はや歩き	105kcal	1/2個
走る	180kcal	1個

上記のように、歩く速さによって消費カロリーは異なります。いつもの歩き方を変えるだけで、消費できるカロリーはアップします。今日は歩く速さを意識して歩いてみませんか!

A 坂田山ふれあい広場

遊歩道のシンボルで、防火貯水池や広場や見晴らし休憩所があります。炭焼窯と作業小屋があり、毎年春に炭焼きが行われます。(駐車場・トイレもあります。)



B 吉向焼窯跡

江戸時代後期、日本でも指折りの陶工吉向が当時の須坂藩の要請により、吉向焼を焼いた窯跡です。(付近に駐車場・トイレもあります。)



C 竜の割石

その昔、須坂のある池が干ばつで干あがったとき、その池に住む竜が扇清水を呑みに来てこの岩へ爪をかけて割ったと伝えられています。



D 坂田神社

天正(16世紀後半)の頃創立され、明治初年まで諏訪社と称していました。明治41年に羽黒社、白山社、秋葉社を合祀し、昭和14年に村社に昇格し坂田神社となりました。



E 見晴らしの丘からのながめ

